

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

平成27年7月30日

米子市議会議長様

会派名 希望

代表者氏名 国頭 靖

提出者氏名 矢倉 強



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	矢倉 強
期日	平成27年7月28日から平成27年7月29日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容）	7月28日 文部科学省 スポーツ庁の設置について 7月29日 東京都調布市 中心市街地のまちづくり（駅前広場整備・鉄道敷地利用） について
〔所感〕	別紙のとおり
経費	旅費総額 94,086 円

視 察 報 告

会派 希望 矢倉 強

(調査項目) スポーツ庁の設置について

視察先 7月28日 文部科学省

10月に国においてスポーツ庁が設置されることから本市においてもその対応が急がれる事から調査に出向いた。

私は、かねてからスポーツ団体を通じスポーツ庁の設置の必要性を国に要望して来た
また、本市の議会でもそのような主旨で質問をして来た

今日においても、スポーツ部門が文科省内にあることは如何にも時代遅れであり
設置の切っ掛けが東京オリンピック誘致決定にあると思われるが何れにせよ喜ばしい
事にかわりはない。

この度のスポーツ庁設置の目的は、スポーツを通じて国民が生涯にわたり心身とも
健康で文化的な生活を営む事ができる社会の実現をめざす事にある。

従って、厚労省、外務省、国交省、農林省、経産省、環境省が参加しスポーツ行政を
総合的に推進することになる。

私が、かねてから要望してきた学校クラブスポーツの充実、地域スポーツへの支援
健康増進に資するスポーツ機会の確保や競技スポーツの技術向上などに効果を発揮
出来ると期待している。

今後は、市の対応が急がれるところだ。

(視察項目) 中心市街地のまちづくり

(駅前広場、鉄道敷地利用) について

視察先 7月29日 調布市

21世紀の調布のまちの骨格をつくる事を目的に利便性が高く快適で豊かなまちを

つくるプロジェクトが設置された。

主な事業は、駅前広場の整備、鉄道敷地の整備、駅周辺における市街地再開発事業の促進、都市計画道路の整備や自転車等駐車場の整備などである。

また、まちの活力を高めるために次のような事業に力点を置く、オリンピック、パラリンピックに向けた取り組みの推進、商店街の活性化の推進、民間ノウハウを活用した中小企業、小規模事業者の支援や映画のまち調布の推進などである。

そもそもこのような事業を起こす切っ掛けは、京王線連続立体交差事業で鉄道の地下化が実現し、分断されていた市街地の一体化、鉄道敷地の有効利用、交通渋滞の解消歩行者、自転車の安全性の向上など様々な分野で飛躍的な発展をとげる事となる

このようなまちの100年後を見据えた計画を推進するには、トップの不退転の決意があったと同時に多くの市民の理解と支援があったからである。

米子市においても駅南の再開発や駅舎の再開発が考えられているが、広い視野と見識°を持たないまちは衰退せざるをえないのかなと考えられもするがもう一度立ち止まり誰彼が利益を得るかいなかの小市民的な考えでなく高い目標を見据えて市民一丸となって考えなおさなければならない。